



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

9日

週末にロシアとの追加減産協議が決裂したサウジアラビアが増産姿勢を示したほか、国営石油会社サウジアラムコが米国や欧州向けの公式販売価格を過去20年で最大の値下げに踏み切ることが伝わると週明けの原油先物相場が暴落。株価の大幅下落とともにドル円はストップロスを断続的に巻き込む形で101.19円と2016年10月以来約3年5カ月ぶりの安値を付けた。

10日

トランプ米大統領が給与と税減税を含めた経済対策について記者会見を開くと発表すると期待感から株価反発とともにドル円は買い戻しが優勢となった。その後も上下に大きく振れながらも一時105.92円まで大きく値を上げた。

11日

米経済対策に具体性がなかったことでドル円は104.10円まで下落した。その後は104円台半ばを中心としたもみ合いに終始した。

12日

トランプ米大統領の国民向け演説の内容が新味に欠けるとしてダウ先物が急落するとドル円も103.09円まで急速に値を下げた。ただ、欧米株式市場の大幅下落であらゆる資産のキャッシュ化が進むなかで、ドルが全面高の展開となったため、ドル円は106.10円まで大幅に反発した。

13日

前日とは一転して米国株が記録的な反発を見せると円が急落。その後も有事のドル買いが意識されて連日のドル高が進んだため、ドル円は目立った下押しもないまま、一時108.50円まで買い上げられた。

総括

先週のドル円は乱高下だった。週明けは原油相場の暴落でリスクオフの動きが一気に進み、ドル円は売りが売りを呼ぶ展開から一時101.19円まで売り込まれた。その後は市場の流動性が低下し、ボラタイルな相場展開となった。激しく上下するなかでも有事のドル買いが意識されたことで買いが進み、週末には108.50円と先週だけで7円超の大幅反発劇となった。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	予想値	結果
10日	19:00	火	EUR	GDP確定値	前期比	10-12月期	0.1%	0.1%	0.1%
11日	18:30	水	GBP	GDP	前月比	1月	0.3%	0.2%	0.0%
11日	21:30	水	USD	CPI	前月比	2月	0.1%	0.0%	0.1%
12日	21:30	木	USD	PPI	前月比	2月	0.5%	-0.1%	-0.6%
12日	21:45	木	EUR	ECB政策金利	*	*	0.00%	0.00%	0.00%
12日	22:30	木	EUR	ECB総裁定例記者会見	*	*	*	*	*
13日	23:00	金	USD	消費者態度指数速報値	*	3月	101.0	95.0	95.9

一言コメント・・・ECBは量的緩和政策を年末まで1200億ユーロ拡大すると発表した一方、政策金利は現行の0.00%に据え置くと発表。ECBが利下げに踏み切らなかったことで市場では失望感が広がり、イタリアなどの周辺国国債が急落し、イタリアを含め欧州各国の株式相場が暴落しました。

先週の注目された要人発言

- 9日14:32 黒田日銀総裁「投資家のセンチメントが悪化している」「市場では神経質な動きが続いている」「日銀も方針に沿って適切に躊躇なく対応する」
- 9日16:04 武内財務官「過度な変動は望ましくない」「為替のコメントは控える」「これまで以上に緊張感をもって注視する」
- 10日01:51 テドロスWHO事務局長「(新型コロナウイルスの感染拡大を受け)パンデミック(世界的大流行)の脅威が現実味を帯びてきた」「制御は可能」
- 10日07:40 トランプ米大統領「給与税の引き下げを議会と協議する」「FRBは競合国と同じ水準まで利下げすべき」
- 10日12:20 安倍首相「日銀と連携し、必要ならば適切に対応する」「新型肺炎対策第2弾、金融支援の総額は1.6兆円」「財政措置4300億円、予備費2700億円活用」
- 11日07:10 クドローNEC委員長「包括的な経済対策の詳細に取り組んでいる」「近い将来に経済対策のより具体的な内容を公表」
- 11日18:06 カーニーBOE総裁「利下げは予算との協調を表した」「英国のためにあらゆる必要な追加措置を講じる」
- 12日01:31 テドロスWHO事務局長「(新型コロナウイルスの感染拡大を受け)パンデミック(世界的大流行)となった」
- 12日22:35 ラガルドECB総裁「新型コロナウイルスの感染拡大で成長見通しに甚大なショック」「野心的で協調的な財政対応が必要」「あらゆる政策手段を必要に応じて調整する用意」
- 13日05:04 メルケル独首相「独国内の新型コロナウイルス感染は急速に拡大」「新型コロナウイルスは未知への挑戦」

一言コメント・・・WHOの遅すぎる対応もあって世界の株式相場が急落する展開でした。一方、各国中央銀行は緊急会合などを開催し金融緩和に動きました。前週末にかけては世界の中銀による金融緩和で株価がひとまず反発しています。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
16日	21:30	月	USD	NY連銀製造業景気指数	*	3月	12.9		5.0
17日	19:00	火	DEM	ZEW景況感調査	*	3月	8.7		-25.0
17日	21:30	火	USD	小売売上高	前月比	2月	0.3%		0.2%
19日	6:45	木	NZD	GDP	前期比	10-12月期	0.7%		0.6%
19日	9:30	木	AUD	失業率	*	2月	5.3%		5.3%
19日	21:30	木	USD	フィリー指数	*	3月	36.7		10.0
19日	*	木	ZAR	南ア中銀政策金利	*	*	6.25%		6.00%

今週の注目は・・・指標材料視されづらいか

週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
 - 荻野金男
 - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - 今井雅人
 - よろずのつぶやき

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。